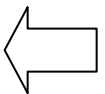


読んで、そう思ったことを 伝え合おう

「きしきの商売」

めあて

- ① ばめん 場面のよすを思いつかべながら 音読しめい
- ② ういでんじょう 登場人物のしたじや言ったじよから、気持ちを考えてよ



この学習のポイントは、場面のよすを思いつかべて音読するじよです。「場面」は、3年生になって新しく学ぶ言葉です。

**場面** ばめん

(☆教科書一五九ページをチェックしよう)

物語の中にある、うへつかのまとまりのじよを「場面」といいます。時間や場所が変わると、新しい場面になります。それぞれの**場面でおいったじよ**や、**その時の人物の気持ち**に気をつけて読むじよが大切です

「きしきの商売」は、大きく二つの場面に分かれています。

○まず、このお話を一言であらわしてみまじよ。

このお話は、**だれが**、**何を**したお話をしよ。

(だれ)

(何を)

が

を聞いたお話です。



○しぎに、それぞれの場面の登場人物や書かれているようすをせいりしましょう。

一の場面

場所はどこ？	•
天気は何？	•
登場人物はだれ？	•
何の音を聞かせてあげた？	•
ねだんはいくら？	•
その音は どんな音だった？	•
音を聞いて 動物たちは どんな気持ちに なったかな？	

考える力！！





☆たいせつ

場面のようすや 登場人物の気持ちなどをうかがう時は、

しぎのよくな言葉に気をつけて、よくうかがいましょう。

- ① 人物がしたことをおぼわす言葉
- ② 人物が言ったことをおぼわす言葉
- ③ 気持ちをおぼわす言葉

11の場面

<p>場所はどこ？</p> <p>天気は何？</p>	
<p>登場人物はだれ？</p>	
<p>何の音を聞かせてあげた？</p>	
<p>ねだんはいくら？</p>	
<p>その音は どんな音だった？</p>	
<p>音を聞いて動物たちは どんな気持ちになったかな？</p>	

考える力！！

○ 登場人物のようすがせいらりできたら、その場面のようすがたわるように、いっしょに音読してみましょ。

音読する時、その音のうしろをひいておいて

- ① 登場人物のようすがあたまをゆする
- ② 声のうしろを高く聞いたり方を考える

☆たいせつ

# やっぴみみっ

★あなたが「きつつきの商売」の三の場面をつくるなら、  
どのような物語にしますか。

登場人物や場所、天気などのようす、きつつきが聞かせる音や、できごとを  
考えて書いてみましょう。

登場人物	・お店の人 ↓ きつつき ・おきゃくせん ↓
場所や 天気	
聞かせる音	
できごと	

